

## 幼稚園兒童身體檢查成績

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/31006">http://hdl.handle.net/2297/31006</a>

# 十全會雜誌

第三十三卷第一號(第二百六十四號)

昭和三年一月一日發行

原著

## 幼稚園兒童身體檢查成績

金澤醫科大學衛生學教室(主任星野教授)

助手 村上賢三

### 目次

- 一、緒言
  - 二、検査方法
  - 三、年齢ノ算定
  - 四、性別年齢別(六ヶ月區分)ニ依リ分チタル幼小兒ノ發育狀態
    - 1、身長
    - 2、體重
    - 3、身長ト體重トノ關係(充實度又ハ體量)
  - 五、諸家ノ成績ト本調査トノ比較
    - 1、内務省ノ成績ト本調査トノ比較
    - 2、三輪氏ノ成績ト本調査トノ比較
    - 3、三島氏ノ成績ト本調査トノ比較
  - 六、總括
- 文獻

(1)

### 一、緒言

原著 村上賢三 幼稚園兒童身體檢查成績

(2)

生物學上ヨリ一民族ノ盛衰ヲ判斷スルニ當リソノ標準トナスベキモノハ其民族ノ「數」ノ如何ト「質」ノ如何ニ存ス。而シテ民族ノ「數」ノ問題ハソノ民族ノ出生率ト死亡率トニヨリ決定セラレ、「質」ノ如何ハ精細ナル精神の並ニ身體の觀察ニヨリ窺フヲ得ベシ。

「數」ノ問題ハ姑ク措キ、一民族ノ「質」ノ如何ヲ窺フニ當リ身體的觀察ハ精神の觀察ト共ニ極メテ重要ナリ。

殊ニ身體發育ノ狀態ヲ精細ニ檢シ之ヲ他民族ト比較スルハ民族衛生、民族生理、民族解剖學上ヨリ見テ極メテ興味多キ點ナリ。

今日身體發育ノ測定法ニハ二ツノ方法アリ。即一ハ直接測定法（一定期間内ニ於ケル發育ヲ同一人ニツキ測定ス、一名箇別的測定法）他ハ間接測定法（種々ナル年齢又ハ月齡ヲ有スル個人ヲ其平均年齢又ハ月齡ニ區別シ、多數同時ニ測定スル方法、一名概括的測定法）コレナリ。今日迄多クノ學者ハ主トシテ間接測定法ヲ用ヒタリ。<sup>(4)</sup>

我國ニ於テハ古ク三島氏<sup>(5)</sup>ガ間接測定法ニヨリ頗ル莫大ナル材料ヲ根據トシテ日本人ノ健體發育ノ標準ヲ發表セシ以來コノ方面ニ關スル多數學者ノ報告ヲ見ルニ至レリ。<sup>(6)(7)(8)(9)(10)(12)</sup>

殊ニ文部省ハ毎年四月乃至五月ニ全國ノ各學生、生徒、兒童ニ身體檢查ヲ施行セシメ國民體格ノ變化ヲ注意シツツアリ。

又一方年々行ハルル徵兵檢查ノ成績<sup>(2)</sup>ヲ見ルニ國民ノ體格ハ年々良好ニ赴キ、殊ニ身長ノ如キハ年々増加ノ傾向ヲ示シ居レリ。

斯ノ如ク我國ニ於ケル就學年齡以上ノ國民體格ノ狀態ハ今日大イニ明カトナルニ至レリ。

然レドモ就學年齡以下ノ幼兒ノ發育狀態ニ至リテハ今日尙明カナラザル點多シ。殊ニ幼稚園兒童ニ於ケル、コノ方面ノ組織的ノ研究ハ少ク、古クハ三島氏並ニ三輪氏ノ報告ト近クハ内務省ノ報告アルニ過ギズ。

余偶々昭和二年五月九日ヨリ同年六月二十一日ニ至ル間ニ（一少部分ハ大正十五年五月十八、十九、二十一、二十

四日ニ於テ、金澤市及ビ七尾町、羽咋町ニ於ケル八ヶ所ノ幼稚園ニ收容セル兒童ノ身體検査ヲ行フ機會ヲ得タリ。其検査人員僅ニ、四四三名ニ過ギザルモ將來コノ方面ニ對スル研究ノ第一歩トシテ茲ニ一括シテ報告セントス。身體検査ノ項目ハ文部省ノ規定ニ準ジ身長、體重、胸圍、榮養、脊柱、齒牙、疾病等ノ外座高ニ就テモ検査ヲ行ヘリ。

然レドモ今回ハ右検査ノ内身長、體重、胸圍ノミニツキ報告セントス。

検査兒童ヲ區分スレバ左ノ如シ。

所在地	園名	公私立別	検査年度	検査人員		計
				男	女	
金澤市	野町幼稚園	私立	大正十五年度	二六	二六	五二
同	同	同	昭和二年度	二九	一九	四八
同	川上幼稚園	同	同	三五	三七	七二
同	馬場幼稚園	同	同	二八	二一	四九
同	白銀幼稚園	同	同	一八	一九	三七
同	十四番館幼稚園	同	同	一三	一三	二六
同	北陸女學校附屬第一幼稚園	同	同	五八	二八	八六
七尾町	七尾幼稚園	同	同	一五	二〇	三五
羽咋町	羽咋幼稚園	同	同	一五	二三	三八
計	八ヶ所		人員	二三七	二〇六	四四三

## 二、検査方法

兒童ノ身體検査ヲ行フニ當リテハ、ヨク兒童ニソノ目的ヲ知ラシメ豫メ恐怖ノ念ヲ除去シ置クヲ必要トス。

例ヘバ身長、體重、胸圍等ヲ測定スルニ當リ各一人一人ニ、「身體ノ長サヲ測ツテアゲマセウ」、「身體ノ重サヲ測ツ

(4) テアゲマセウ、「胸ノメグリヲ測ツテアゲマセウ」等ノ注意ヲ與ヘツツ測定シハジムルガ如キ一例ナリ。

一、身長ノ測定……身長ハ同一人ニ於テモ一日中ノ時刻ニ因リ差異アリ。即起床時(午前六時位)ハ最大ニシテ夕刻(午後七、八時位)ハ最小ナリ。ソノ日差一糎乃至三糎ニシテ非常ニ疲勞セル時、又ハ過度ノ歩行ヲナシタル時ハ四乃至六糎ヲ減少ス。然レドモ長時間横臥スル時ハ再び舊ニ復ス。又一日中ニ於ケル身長ノ減退ハ起床後四五時間ヲ經タル時ニ頂上ニ達ス。即起床五、六時間後ニ至レバ固有ノ身長ニ至ルモノ、如シ。(1)(6)(13)(14)

余ハ殆ドスベテノ場合午前十時乃至十二時ノ間ニ於テ測定セリ。

測定ノ方法ハ今日一般ニ用ヒラル、方法ト注意トヲ以テセリ。

(1) 器械……身長計ヲ用ヒタリ。同一身長計ヲ以テ、スベテノ兒童ヲ測定スルヲ理想トスレドモ、種々ナル關係上各幼稚園ニ用意セラレタル身長計ヲ以テ測定セリ。

(2) 準備……身長計ハ床面平坦ナル場所ニ据付ケ若シ床面疊敷ナル時ハ厚キ木板ヲ下敷トシテ動搖ヲ防ギタリ。

(3) 測定上誤差ヲ生ジ易キ諸點。

(イ) 足趾ヲ正シク臺上ニツケザル爲ニ來ルモノ。

(ロ) 頭、軀幹及ビ下肢ノ姿勢正シカラザル爲ニ來ルモノ。

(ハ) 横桿ヲ顛頂部ニ當ツル瞬間ニ頭ヲ收縮サス爲ニ來ルモノ。

(4) 測定方法……受檢者ヲ身長計ノ臺上足形ニ一致シテ左右ノ踵ヲ駢べ、支柱ニ接シテ姿勢正シク直立セシム、殊ニ脊柱及ビ膝ヲヨク伸サシメ手ハ垂直ニ下ゲ、顎ヲ引キ頸ヲ眞直ニシ顔ハ正面シ、眼ノ高サノ目標ヲ注視セシメ呼吸ハ尋常呼吸ノ状態ニアラシム。

檢者ハ正面及ビ側面ヨリ觀察シテ之ヲ矯正シ次デ横桿ノ正中ヲ靜カニ顛頂部ニ當テ全身ノ位置ヲ通視シ受檢者ヲ靜カニ臺上ヨリ下シ、身長計ノ度目(米)ヲヨミテ定メタリ。

二、體重ノ測定……體重ハ同一人ニ於テモ食事ノ前後、排尿、便ノ前後ハ差異アルハ勿論ナルガ、カ、ル特別ノ條件存セズト雖モ一日中時間的動搖時々刻々トシテ靜止セズ。

何レノ時間ニ於テモ固有ノ値ヲ示サズ。田原氏(ハ)一日中體重動搖ノ平均値ヲ表ハスハ午後二時前後ナラント唱ヘテ

レリ。然レドモ余ハ種々ナル事情ニヨリ、スベテノ場合午前十時乃至十二時ノ間ニ於テ測定セリ。測定ノ方法ハ今日一般ニ用ヒラル、方法ト注意トヲ以テセリ。

(1) 器械……體重計(臺秤)ヲ用ヒタリ。身長計ト同様ニ各幼稚園ニ用意セシ體重計ヲ以テ測定セリ。

(2) 準備……體重計ハ床面平ナル場所ニ据置キ若シ疊敷ノ室ニアリテハ厚キ木板ヲ臺ニ敷キ秤臺ノ動搖ヲ防ギタリ。

體重計ハ使用前日乃至當日豫メ垂直標準針ヲ檢シテ秤臺ノ水平ナルヤ否ヲ確メ尙重錘ヲ秤量シテ誤差ナキヤヲ檢シ、若シアラバ矯正シオク必要アリ。余ハ本検査中コノ注意ノ如何ニ大切ナルカヲ痛感セリ。

(3) 測定上誤差ヲ生ジ易キ左ノ諸點(一)ニ就キテハ殊ニ留意セリ。

1、衡ソノモノ、不正確ヨリ來ルモノ。

(1) 衡ヨリ來ル誤差  
2、衡ノオキ方ヨリ來ルモノ。

3、錘ノ置キ方ヨリ來ルモノ。

(ロ) 測定ノ狀況ヨリ來ルモノ。

(ハ) 被測定者ノ體勢ヨリ來ルモノ。

(4) 測定ノ方法……受檢者ヲシテ衣服、足袋、靴下、腰卷等ヲ全部トラシメ、秤臺ノ腰掛ニ正シク坐セシメ手ヲ他ニ觸レシメズ、

檢者ハ秤ノ基點ヨリ末端ニ向ケ重錘ヲ動カシ正シク平均ヲ得ルニ至リテ體重(斤)ヲ決定セリ。

秤臺ヘノ昇降ハ靜カニ行ハシムルコトヲ要ス。

三、胸圍ノ測定……胸圍ノ大サハ胸腔ノ大サト肋骨ノ厚サ、胸筋肉、皮下脂肪、皮膚ノ厚サノ總和ニシテ必ずシモ胸腔ノ大サヲ現ハ

スモノニアラズ、然レドモ胸圍ノ大小ハ全身健康ノ可否ト大ナル關係ヲ有ス。

(1) 器械……卷尺ヲ用ヒ、スベテ同一卷尺ヲ以テ測定セリ。

(2) 準備……同一人ニアリテモ胸圍ハ測定ノ位置「バンド」ノ緊メ加減、被測定者ノ呼吸ノ情態、被測定者ノ姿勢等ニヨリ大イニ

差異ヲ來スモノナリ。コレ等ノ差異ヲ少ナカラシムルニハ、胸圍ハ同一人ニテ測定シ、胸圍測定ノ位置ヲ一定ニシ「バンド」ノ緊メ方ヲ一定ニスルコトヲ要ス。

(3) 胸圍ノ大トナリ又小トナル場合。

合屋氏(一)ニヨレバ「胸圍ヲ大ナラシムル姿勢」ハ

- 1、肩ヲ後ニ引ク時。
- 2、肩ヲ上ニアグル時。
- 3、臂ヲ體ヨリ離シテ上ニ持チ上グル時。
- 4、頸ヲ後方ニ引イテ胸ヲ突き出ス時。
- 5、胸椎ヲ後ニ屈グル時。

「胸圍ヲ小ナラシムル姿勢」

- 1、肩ヲ前ニスボメル時。
- 2、胸椎部ヲ前ニ屈グル時。
- 3、首ヲ前ニ屈グル時。

(4)、測定ノ方法……胸圍ヲ測定スルニ當リテハ以上ノ諸點ヲ顧慮シテ受檢者ヲ直立セシメ、兩上肢ヲ肩ノ高サニ開展シ、卷尺ヲ

以テ背面ハ兩肩胛骨下隅下、前面ハ左右乳頭ノ直下ニ於テ周匝シ次イデ兩上肢ヲ垂レテ自然ノ位置ニアラシム。此際檢者ハ卷尺ノ緊メ加減ニ注意シ強キニ過ギテ皮膚ニ喰ヒ込ムコトナキカ又弛ミテ背部ヨリ迂リオツルコトナキカ、特ニ背面ニ於テハ卷尺ガ正シク水平ニ固定シアルヤ否ヤニ注意シ次イデ受檢者ニ簡單ナル對話ヲシツ、尋常呼吸ニ於テ周徑(樞)ヲ計測セリ。<sup>(13)</sup>

女子胸圍測定上特ニ注意スベキ乳房膨隆ノ點ハ幼稚園兒童ニアリテハ全ク顧慮スル必要ナキハ勿論ナリ。

### 三、年齢ノ算定

年齢ノ算定ハ生年月日ヨリ検査當日迄ヲ計算シ、「滿」ヲ以テ表ハセリ。而シテ各年齢又ハ月齡ノ限界ニ於テハ從令一日タリトモ超過スルモノハコレヲ上ノ年齢ニ算入スルコトトセリ。

年齢ノ區分ハ普通小學兒童ニアリテハ「一年區分」ナルモ余ハ「六ヶ月區分」トセリ。ソノ理由ハ幼稚園年齢ノ兒童ニアリテハ殊ニ發育旺盛ニシテ一ケ年ノ發育ハ極メテ大ナレバナリ。而シテ三島氏ノ成績トノ比較ニ於テハ同氏ノ調査ガ「一年區分」ナルヲ以テ本調査モ「一年區分」トシテ比較セリ。

四、性別、年齢別(六ヶ月區分)ニヨリ分子タル幼小兒發育狀態(第八表參照)

1、身長(糎)

第一表 身長(糎)

年齡區分	性別		検査人員	平均值	中央値	最大値	最小値	最大最小差
	女	男						
滿三年↓三年六ヶ月未滿	女	男	0	—	—	—	—	—
	女	男	3	96.1	93.4	97.7	83.1	14.6
滿三年六ヶ月↓四年未滿	女	男	6	95.9	95.9	97.2	94.6	2.6
	女	男	6	93.3	92.1	95.5	86.7	8.8
滿四年↓四年六ヶ月未滿	女	男	3	97.8	97.6	108.0	89.2	18.8
	女	男	5	95.0	95.6	103.1	87.0	16.1
滿四年六ヶ月↓五年未滿	女	男	3	101.5	101.5	107.0	94.9	12.1
	女	男	3	98.7	98.0	105.1	94.1	11.0
滿五年↓五年六ヶ月未滿	女	男	6	103.6	103.4	111.8	93.3	18.5
	女	男	6	101.4	101.3	109.0	95.3	13.7
滿五年六ヶ月↓六年未滿	女	男	6	105.3	106.2	111.0	96.6	14.4
	女	男	6	103.5	103.9	111.9	94.0	17.9
滿六年↓六年六ヶ月未滿	女	男	7	105.1	105.5	111.1	95.4	15.7
	女	男	9	101.0	101.4	110.3	94.5	15.8

(7)

2、體重(斤)

原著 村上 幼稚園兒童身體檢查成績



第二表 體 重 (斤)

年 齡 區 分		性別	檢 查 人 員	平 均 值	中 央 值	最 大 值	最 小 值	最 大 最 小 差
滿三年↓三年六ヶ月未滿		女	〇	—	—	—	—	—
		男	三	一二・〇五〇	一二・五〇〇	一三・八五	九・八〇	四・〇五
滿三年六ヶ月↓四年未滿		女	〇	—	—	—	—	—
		男	六	一四・四七〇	一四・四八〇	一五・九五	一三・二五	二・七〇
滿四年↓四年六ヶ月未滿		女	六	一三・〇五三	一二・八二〇	一四・四五	一一・八五	二・六〇
		男	六	一四・四七一	一四・五五〇	一八・八〇	一二・二七	六・五三
滿四年六ヶ月↓五年未滿		女	三	一三・四四三	一三・八五〇	一五・七五	一〇・四〇	五・三五
		男	三	一五・六四四	一五・四五〇	一七・五〇	一二・九八	七・五二
滿五年↓五年六ヶ月未滿		女	三	一四・七三九	一四・六五〇	一七・二五	一三・〇〇	四・二五
		男	三	一六・四二九	一六・四〇〇	一七・二〇	一三・〇〇	七・二〇
滿五年六ヶ月↓六年未滿		女	六	一五・三三三	一五・一〇〇	一七・〇〇	一二・五五	八・四五
		男	六	一六・八九九	一六・八〇〇	一七・七五	一二・九五	七・八〇
滿六年↓六年六ヶ月未滿		女	六	一五・九九七	一五・八五〇	一七・七〇	一〇・四五	一・二五
		男	六	一七・四〇五	一七・〇〇〇	一八・五〇	一三・四〇	七・一四
滿六年↓六年六ヶ月未滿		女	一	一七・一三	一七・一五〇	一三・〇〇	一三・三〇	八・八〇
滿六年↓六年六ヶ月未滿		男	一	一七・一七	一七・〇〇〇	一三・五〇	一三・四〇	七・一四

3、身長ト體重トノ關係(充實度又ハ體量)

身長一糎ノ有スル體重ヲ數字ニテ表ハスハ取扱上便ナラザルヲ以テ、コレヲ百倍ナシ身長一米ノ有スル體重(斤)ヲ以テ表ハセリ。

第三表 體重/身長×100

年齡區分		性別	檢查人員	平均值	中央值	最大值	最小值	最大最小差
滿三年↓三年六ヶ月未滿		女	〇	—	—	—	—	—
		男	三	一三・三三	一三・三三	一四・八三	一二・九	三・〇四
滿三年六ヶ月↓四年未滿		女	六	一四・元	一三・九七	一六・〇六	一三・二二	二・九四
		男	六	一五・一〇	一五・二五	一六・六六	一三・九三	二・四二
滿四年↓四年六ヶ月未滿		女	三	一四・四	一四・二六	一五・九一	一〇・七六	五・三
		男	三	一五・〇七	一五・一九	一七・九三	一三・二四	四・六八
滿四年六ヶ月↓五年未滿		女	三	一四・九三	一四・八七	一六・七五	一二・五〇	三・二五
		男	三	一五・四〇	一五・四八	一九・三三	一二・三〇	七・〇四
滿五年↓五年六ヶ月未滿		女	三	一四・九八	一五・〇〇	一九・七七	一二・七〇	六・五七
		男	三	一五・八四	一五・八三	一八・〇七	一二・〇九	五・九八
滿五年六ヶ月↓六年未滿		女	六	一五・四三	一五・四七	一八・七三	一三・五五	五・一八
		男	六	一五・九七	一五・九六	一八・七三	一三・五五	五・一八
滿六年↓六年六ヶ月未滿		女	九	一五・九六	一五・九七	一八・九	一二・一〇	五・九
		男	七	一六・五三	一六・五九	一八・五五	一三・九四	四・四一

4、胸 圍(櫃)

第五表 胸 圍(櫃)

原著 村上 幼稚園兒童身體檢查成績

年齡區分	性別	検査人員	平均値	中央値	最大値	最小値	最大最小差
滿三年↓三年六ヶ月未滿	女	〇	—	—	—	—	—
	男	三	四八・三	四八・五	五〇・〇	四五・五	七・五
滿三年六ヶ月↓四年未滿	女	六	四九・三	四九・〇	五二・〇	四七・〇	五・〇
	男	六	五〇・八	五〇・五	五二・〇	四九・〇	四・〇
滿四年↓四年六ヶ月未滿	女	一五	四九・三	四九・五	五二・〇	四六・五	二・五
	男	三	五〇・三	五〇・〇	五二・〇	四六・五	二・五
滿四年六ヶ月↓五年未滿	女	三	五〇・四	五〇・五	五二・〇	四七・五	二・〇・五
	男	三	五〇・七	五〇・八	五二・〇	四八・〇	八・〇
滿五年↓五年六ヶ月未滿	女	六	五〇・一	五〇・三	五二・〇	四七・五	二・〇・五
	男	六	五〇・五	五〇・〇	五二・〇	四七・五	二・〇・五
滿五年六ヶ月↓六年未滿	女	六	五〇・〇	五〇・〇	五二・〇	四七・〇	一・五
	男	六	五〇・〇	五〇・〇	五二・〇	四七・〇	一・五
滿六年↓六年六ヶ月未滿	女	一七	五〇・八	五〇・〇	五二・〇	四八・五	一・〇・五
	男	一七	五〇・八	五〇・〇	五二・〇	四八・五	一・〇・五

5、身長ト胸圍トノ關係

第六表 身長ト胸圍

\*ハ胸圍が身長ノ半以下ノモノ

年齡區分	男		女	
	検査人員	身長(厘米) 對スル胸圍	検査人員	身長(厘米) 對スル胸圍
滿三年↓三年六ヶ月未滿	三	九〇・一	〇	—
		四八・三	—	—
		五〇・六	—	—
		—	—	—
		—	—	—
		—	—	—

(11)

藤原氏<sup>(3)</sup>ハ「小學兒童ニ於テハ小兒ノ胸圍ハ身長ノ半ニ及バズ、タダ學齡ノ初期ニアリテハ身長ノ半ヲ超過ス」ト云ヘルガ本調査ニ於テハ第六表ニ示スガ如ク、男兒ハスペテソノ胸圍、身長ノ半ヲ超過シラルニ反シ女兒ハ「滿五年↓五年六ヶ月未滿」ヨリ上ノ年齡ニ於テハ胸圍ハ身長ノ半ニ及バズ。

コノ成績ハ岡田氏<sup>(12)</sup>ノ「六歳以下ニアリテハ男兒ハソノ胸圍、身長ノ半ヲ超ユルモ女兒ハ六歳ニ至レバソノ半ニ及バズ。」ト云フ成績ニホボ一致セリ。

男女兒共年齡ノススムニツレ胸圍ノ身長ニ對スル比ハ小トナル、即コハ胸圍ノ増加ハ身長ノ發達ニ比スレバ小

原著 村上 幼稚園兒童身體檢査成績

滿三年六ヶ月↓四年未滿	六	九五・九	五〇・八	五三・九七	六	九二・三	四九・三	五四・〇〇
滿四年↓四年六ヶ月未滿	三	九七・八	五二・三	五二・四五	三五	九五・〇	四九・三	五一・八九
滿四年六ヶ月↓五年未滿	三	一〇二・五	五二・七	五〇・九四	三	九八・七	五〇・四	五一・〇六
滿五年↓五年六ヶ月未滿	八	一〇三・六	五三・一	五二・五	六	一〇二・四	五〇・五	*四九・八〇
滿五年六ヶ月↓六年未滿	六	一〇五・三	五三・〇	五〇・三三	六	一〇三・五	五一・二	*四九・四七
滿六年↓六年六ヶ月未滿	七	一〇五・一	五三・八	五一・九	九	一〇七・〇	五一・二	*四八・七九

第七表 身長並ニ胸圍増加表

年令	身長(釐)		胸圍(釐)	
	男	女	男	女
滿三年↓三年六ヶ月未滿	五八	—	二・五	—
滿三年六ヶ月↓四年未滿	一九	三・七	〇・五	〇
滿四年↓四年六ヶ月未滿	三七	三・七	〇・四	一・一
滿四年六ヶ月↓五年未滿	二二	二・七	一・四	(一・三)
滿五年↓五年六ヶ月未滿	一七	二・一	(〇・一)	〇・七
滿五年六ヶ月↓六年未滿	(〇・三)	三・五	〇・八	一・〇
滿六年↓六年六ヶ月未滿	—	—	—	—

( ) 内ハ退減

(12) ナルヲ示スモノナリ。而シテコノ關係ハ次ノ身長ト胸圍トノ増加表ヲ見レバ更ニ明カナリ。(第七表)

第八表 性別及年齢別(六ヶ月區分)ニ依リタラシ小兒發育狀態比較

年齢區別 (満年月)	性別	検査 人数	身長 (厘米)					體重 (斤)					體重/身長×100					胸圍 (厘米)				
			平均値	中央値	最大値	最小値	最大差	平均値	中央値	最大値	最小値	最大差	平均値	中央値	最大値	最小値	最大差	平均値	中央値	最大値	最小値	最大差
3→3.6	男	3	90.1	93.4	93.7	83.1	10.6	12.050	12.200	13.85	9.80	4.05	13.32	13.34	14.83	11.79	3.04	48.3	48.5	51.0	45.5	7.5
	女	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3.6→4	男	6	95.9	95.9	97.2	94.6	2.6	14.470	14.480	15.95	13.25	2.70	15.10	15.15	16.36	13.93	2.43	50.8	50.5	53.0	49.0	4.0
	女	6	91.3	91.1	95.5	86.7	8.8	13.053	12.810	14.45	11.85	2.60	14.29	13.97	16.06	13.12	2.94	49.3	49.0	52.0	47.0	5.0
4→4.6	男	34	97.8	97.6	108.0	89.2	18.8	14.761	14.550	18.80	12.27	6.53	15.07	15.19	17.92	13.24	4.68	51.3	51.0	58.0	46.5	11.5
	女	25	95.0	95.6	103.1	87.0	16.1	13.442	13.850	15.75	10.40	5.35	14.14	14.16	15.91	10.78	5.13	49.3	49.5	53.0	44.5	8.6
4.6→5	男	34	101.5	101.5	107.0	94.9	12.1	15.644	15.450	20.50	12.98	7.52	15.40	15.48	19.34	12.30	7.04	51.7	51.8	56.0	48.0	8.0
	女	34	98.7	98.0	105.1	94.1	11.0	14.739	14.650	17.25	13.00	4.25	14.92	14.87	16.75	13.50	3.25	50.4	50.5	58.0	47.5	10.5
5→5.6	男	82	103.6	103.4	111.8	93.3	18.5	16.429	16.400	20.20	13.60	7.20	15.84	15.83	18.07	12.09	5.98	53.1	53.3	59.5	43.5	16.0
	女	61	101.4	101.3	109.0	95.3	13.7	15.202	15.100	21.00	12.55	8.45	14.98	15.00	19.27	12.70	6.57	50.5	50.0	57.5	46.0	11.5
5.6→6	男	61	105.3	106.2	111.0	90.6	20.4	16.839	16.800	20.75	12.95	7.80	15.97	15.96	18.73	13.55	5.18	53.0	53.0	57.5	48.0	9.5
	女	61	103.5	103.9	112.9	94.0	18.9	15.997	15.850	21.70	10.45	11.25	15.42	15.47	20.17	10.01	10.16	51.2	51.0	57.0	47.0	10.0
6→6.6	男	17	105.1	105.5	112.1	95.4	16.7	17.405	17.000	20.54	13.40	7.14	16.53	16.59	18.35	13.94	4.41	53.8	53.0	59.0	48.5	10.5
	女	19	107.0	107.4	120.3	94.5	25.8	17.123	17.150	22.00	13.20	8.80	15.96	15.97	18.29	13.10	5.19	52.2	53.0	58.0	42.5	13.5

○満三年↓四年未滿ノ兒童ハ検査人員少ナキヲ以テ除外シテ觀察セリ、以下皆同ジ。

第八表ニヨリテ兒童發育ノ状態ヲ見ルニ總テノ年齢階級ニ於テ男兒ハ女兒ニ優レリト云フヲ得ベシ。年齢長ズルニ從ヒ順次成長ノ數ヲ示セリ。

五、諸家ノ成績ト本調査トノ比較

1、内務省ノ成績ト本調査トノ比較

第九表 性別及年齢別(六ヶ月區分)ニヨリタル幼兒發育狀態比較

(内務省ノ成績ト本調査トノ比較)

年齢區分 (満年月)	性別	身 長(釐)			體 重(斤)			胸 圍(釐)					
		内務省衛生局		村 上	内務省衛生局		村 上	内務省衛生局		村 上			
		平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員		
3→3.6	男	93.0	17	90.1	3	13.084	17	12.050	3	50.0	17	43.3	3
	女	91.8	18	—	0	13.669	18	—	0	48.8	18	—	0
3.6→4	男	95.2	58	95.9	6	14.378	58	14.470	6	50.9	58	50.8	6
	女	93.9	45	91.3	6	13.905	45	13.053	6	49.4	45	49.3	6
4→4.6	男	98.2	145	97.8	34	14.738	145	14.761	34	51.2	145	51.3	34
	女	95.8	111	95.0	25	13.931	111	13.442	25	49.4	111	49.3	25
4.6→5	男	100.3	227	101.5	34	15.330	227	15.644	34	51.8	227	51.7	34
	女	99.7	169	98.7	34	14.903	169	14.739	34	50.3	169	50.4	34
5→5.6	男	103.3	337	103.6	82	16.001	337	16.429	82	52.4	337	53.1	82
	女	102.1	242	101.4	61	15.476	242	15.202	61	50.9	242	50.5	61
5.6→6	男	105.5	424	105.3	61	16.523	424	16.839	61	53.0	424	53.0	61
	女	104.5	312	103.5	61	16.076	312	15.997	61	51.5	312	51.2	61
6→6.6	男	107.6	206	105.1	17	17.078	206	17.405	17	53.3	206	53.8	17
	女	106.1	145	107.0	19	16.616	145	17.123	19	52.1	145	52.2	19

本調査ノ成績ト内務省衛生局調査ノ成績トヲ比較スルニ第九表ニ示スガ如ク、

- (1)、身長、胸圍ハ兩者ノ成績或ハ優リ或ハ劣ル状態ヲ示セルモ、タダ女兒ノ身長ハ本調査ノ成績ヤヤ劣レリ。
- (2)、體重ハ、本調査ノ成績ハ内務省ノ成績ニ比シ、男兒ハ平均體重大ナルモ女兒ニアリテハ反對ニ小ナリ。

2、三輪氏ノ成績ト本調査トノ比較

(13)

(14)

第十表 23ヶ年前ノ幼小兒ノ發育狀態ト本調査トノ比較  
(三輪氏ノ成績ト本調査トノ比較)

(1) 身 長 (釐)

年齡區分 (滿年月)	性 別	三 輪 (明治三十四年調)				年齡區分 (滿年月)	性 別	村 上 (昭和二年調)			
		検査人員	平均值	最大値	最小値			検査人員	平均值	最大値	最小値
3→3.6	男	21	89.5	89.8	85.0	3→3.6	男	3	90.1	93.4	83.1
	女	32	89.7	94.5	80.0		女	0	—	—	—
3.7→4	男	30	91.8	97.9	85.0	3.6→4	男	6	95.9	97.2	94.6
	女	27	90.8	101.2	84.0		女	6	91.3	95.5	86.7
4→4.6	男	74	94.1	106.0	83.0	4→4.6	男	34	97.8	108.0	89.2
	女	60	93.9	100.0	83.0		女	25	95.0	103.1	87.0
4.7→5	男	61	96.6	109.4	84.0	4.6→5	男	34	101.5	107.0	94.9
	女	42	97.8	111.0	85.0		女	34	98.7	105.1	94.1
5→5.6	男	96	100.9	109.4	89.0	5→5.6	男	82	103.6	111.8	93.3
	女	62	98.2	108.0	88.5		女	61	101.4	109.0	95.3
5.7→6	男	60	104.9	112.5	96.0	5.6→6	男	61	105.3	111.0	90.6
	女	46	101.5	109.0	91.0		女	61	103.5	112.9	94.0

(2) 體 重 (斤)

年齡區分 (滿年月)	性 別	三 輪 (明治三十四年調)				年齡區分 (滿年月)	性 別	村 上 (昭和二年調)			
		検査人員	平均值	最大値	最小値			検査人員	平均值	最大値	最小値
5→5.6	男	4	16.690	20.060	13.875	5→5.6	男	82	16.429	20.20	13.00
	女	3	15.257	16.125	14.625		女	61	15.202	21.00	12.55
5.7→6	男	16	16.330	19.125	15.000	5.6→6	男	61	16.839	20.75	12.95
	女	3	15.060	16.125	12.550		女	61	15.997	21.70	10.45

年齢ノ區分ニ於テ三輪氏ノ調査ト本調査トノ間ニ多少ノ差異アルモ大體ニ於テ本調査ノ成績ハ二十三年前ノ三輪氏ノ成績ニ比シ、男女其平均身長大ナルヲ認ム。

3、三島氏ノ成績ト本調査トノ比較

第十一表 性別及年齢別(一年區分)ニ依リタル幼兒發育狀態比較

(三島氏並ビニ内務省ノ成績ト本調査トノ比較)

年齡區分 (將年月)	性別	身長(釐)						體重(匁)						胸圍(釐)					
		三島		内務省衛生局		村		三島		内務省衛生局		村		三島		内務省衛生局		村	
		平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員	平均値	検査人員
3→4	男	91.8	不詳	94.5	79	92.9	9	13.599	不詳	14.085	79	13.260	9	49.4	不詳	50.6	79	49.9	9
	女	90.9	〃	93.3	68	91.3	6	12.900	〃	13.838	68	13.058	6	48.5	〃	49.1	68	49.3	6
4→5	男	97.3	〃	99.4	390	99.7	68	15.199	〃	15.098	390	15.203	68	50.6	〃	51.5	390	51.5	68
	女	96.4	〃	98.2	295	97.2	59	14.501	〃	14.520	295	14.091	59	49.7	〃	50.0	295	50.0	59
5→6	男	102.7	〃	104.5	815	104.3	143	16.500	〃	16.290	815	16.634	143	52.7	〃	52.7	815	52.5	143
	女	102.4	〃	103.3	684	102.5	122	16.001	〃	15.814	684	15.600	122	51.8	〃	51.2	684	50.9	122

本調査ト三島氏ノ調査ニ成ル日本健體小兒ト比較スルニ第十一表ニ示スガ如ク、

- (1)、身長、胸圍ハ本調査ノ成績ハ三島氏ノ成績ニ比シ、各年齢階級ノ男女其優秀ナル發育狀態ヲ示セリ。
- (2)、體重ハ兩者ノ成績ハ或ハ優リ或ハ劣ル狀態ヲ示セリ。

本調査ト内務省衛生局ノ調査ノ成績(一年區分)トヲ比較スルニ第十一表ニ示スガ如ク、

身長、體重、胸圍トモ兩者ノ成績或ハ優リ或ハ劣ル狀態ヲ示セリ。

六、總括



(16)  
以上ヲ總括スレバ、

昭和二年五月九日ヨリ同年六月二十一日ニ至ル間ニ(一小部分ハ大正十五年五月十八、十九、二十一、二十四日ニ)於テ金澤市及ビ七尾町、羽咋町ニ於ケル八ヶ所ノ幼稚園ニ收容セル兒童、男二三七名、女二〇六名合計四四三名ノ身體檢查ヲ行ヒタル結果ハ左ノ如シ。

- 一、總テノ年齢階級ニ於テ、ソノ發育狀態ハ男兒ハ女兒ニ優レリ。
- 二、年齢ノ長ズルニ從ヒ順次成長ノ數ヲ示セリ。
- 三、本調査ノ成績ハ大正八年六月ヨリ同年十月ノ間ニ内務省ガ東京府ノ幼稚園收容兒童ニツキテ行ヘル成績ニホボ近シ。
- 四、本調査ノ成績ト三島氏ノ成績トヲ比較スルニ身長、胸圍ハ彼ヨリ優秀ナル發育狀態ヲ示セリ。
- 五、今ヨリ二十三年前ニ三輪氏ガ東京ニ於テ行ヘル成績ト本調査ノ成績トヲ比較スルニ本調査ノ成績ハ彼ヨリ、男女共平均身長大ナルヲ認ム。

終リニ臨ミ終始御懇篤ナル御指導ト御校閲トヲ賜リタル星野教授ニ謹デ滿腔ノ謝意ヲ表シ且本調査ニ對シ多大ノ御助力ヲオシマレザリシ中島泉學士ハジメ學生、渡部猛、今井猛雄、井上剛諸氏ニ對シ深謝ス。  
尙多大ノ便宜ト御助力ヲ賜ハリシ各幼稚園ノ園長ハジメ保姆ノ方々ノ御厚意ニ對シ謝意ヲ表ス。

文 獻

主要文獻：

- 1) 合屋武城：胸圍ニ關スル研究、學校衛生第5卷、第10號、p. 602-611. (p. 8-17) 大正14年10月。 同：體重ニ關スル研究、同第5卷、第11號、p. 671-688 (p. 9-26) 大正14年11月。 同：身長ニ關スル研究、同第5卷、第12號、p. 752-759 (p. 12-18) 大正14年12月。
- 2) 第九師團司令部調製：大正十四年第九師管轄兵檢查成績概要。 3) 藤原薫：小兒ノ身長ト胸圍トノ關係ニ就テ、兒科雜誌、第124號、p.

22→26. (明治43年、p. 618→622) 明治43年9月。 4) 林能昭：自十二→歳至十八歳身體發育型(發育ノ個人差)ニ就テ、兒科雜誌、第309號、p. 107→130. (自第308號→至第319號 p. 243→266.) 大正15年2月。 5) 小塚一郎：身長ノ伸縮ニ就テ、台灣醫學會雜誌、自第159號→至第170號、p. 577→583. 大正5年。 6) 田原盛：日本人ノ健體發育ニ就テ、福岡醫科大學雜誌、第17卷、第1號及2號 p. 1→63 (第17卷、p. 1→63) 4號 p. 1→78. (同 371→448) 5號 p. 1→43. (同 539→581) 大正13年。 7) 皆吉質：兒童ノ身體發育ニ就テ(一回報告)、大阪醫學會雜誌、第19卷、第6號、p. 610 大正9年6月。 8) 三島通良：\*本邦人體格調査報告、國家醫學會雜誌、明治27年。? 同：日本健體小兒ノ發育論、明治35年8月。 9) 三輪徳寛：年齢鑑定ノ一助トシテノ身長及ビ頭圍、國家醫學會雜誌、自第165號→至第176號、p. 347→368. 第172號、p. 1→22. 明治34年8月。 10) 内務省衛生局：東京府ニ於ケル幼稚園收容兒童身體檢査成績、大正11年3月。 11) 大串菊太郎：體格榮養判定標準表並原理、大正11年12月。 12) 岡田道一：兒童心窩搏動ニ關スル研究、日本學校衛生、第15卷、第5號。 p. 1→29. (293→321) 同：季節ニヨル兒童體重ノ増減ニ就テ。同第15卷、第5號。 p. 31→54. (p.323→346) 13) 清水秀夫：身體檢査法、大正13年1月。 14) 竹瀝富助、岩崎彌一郎：日本人身長ノ一日中ニ於ケル動搖ニ就キテ、東京醫學會雜誌、第28卷、自第1號一至24號、p. 41→57 (p. 1031→1047) 大正3年。

#### 參 考 文 獻

15) E. Gerber：Durchschnitts-masse und Gewichte der Schulkinder. Zeitschr. f. Schulgesundheitspflege Bd. 37. S. 16→17. 1924. 16) 一丸愨吉：兒童身體發育諸統計及ビ其ノ考察(上)、學校衛生第7卷、第5號、p. 263→277. (p. 1→15) 昭和2年5月。 同：同(中)同第7卷、第6號、p. 376→391. (p. 24→39) 昭和2年6月。 同：同(下)同第7卷、第7號。 p. 443→454 (p. 21→32) 17) 稻葉良太郎：日本壯丁ニ關スル醫學的觀察、國家醫學雜誌、第351號、p. 1→42. (大正5年度、p. 203→244) 大正5年4月。 18) 石川日出鶴丸：生長、國民衛生、第1卷、第2號、p. 52→64. 大正12年10月。 19) 百崎欽一：入學試驗身體檢査成績ニ就テ、學校衛生、第6卷、第1號、p. 14→19 大正15年1月。 20) 磯田仙三郎外八名：東京市夏期林間學校兒童ノ身體檢査成績、兒科雜誌、自第296號→至第307號、p. 116→136. 第296號、p. 116→136 大正14年1月。 21) 伊藤隼三：日本人ノ骨骼ハ獨逸人ノソレニ比シ果シテ早熟ナルカ、中外醫事新報、第1003號、p. 1→2. 大正11年1月。 22) Alexander Koch-Hesse; Ein Beitrag zur Wachstums-Physiologie des Menschen. Nach Statistischen Erhebungen an der Stoyschen Erziehungsanstalt in Jena. Zeitschr. f. Schulgesundheitspflege, No. 6. S. 293→319. No. 8. S. 457→492. 1905. 23) 三島通良：學校兒童發育取調報告、國家醫學會雜誌、自第129號→至第139號、第129號 p. 8→14. (p. 574→580)、第130號 p. 11→26. (p. 49→64) 明治31年。 24) 文部大臣官房學校衛生課：學生、生徒、兒童身長體重胸圍23ヶ年平均、(自明治33年→至大正12年)、學校衛生第6卷、第7號、p. 501→502. (p. 35→36.) 大正15年7月。 25) 帝國學校衛生會發行：改正メートル法發育概評決定見表、昭和2年3月。 26) 庭瀬信太郎：足長ト身長トノ關係、社會醫學雜誌、自第432號→至第443號、第440, 441. 442. 443號、p. 517→525. 大正12年12月。 27) 西谷宗雄：里子制度ノ社會醫學的研究、社會醫學雜誌、第471號、p. 208→234. 大正15年4月。 28) 木田孝之：小兒ノ體質異常及其養育過誤、國家醫學雜誌、第360號 p. 13→26. 大正6年1月。 29) 佐野

- 保外三名**：東京林間託兒場ニ於ケル兒童身體檢查成績、兒科雜誌、自第308號→至第319號、p. 768→782. 第313號 p. 24→38 大正15年。 30)
- 三田谷啓**：都市兒童ノ身體發育調査成績、大阪醫學會雜誌、第18卷、第6號、p. 461→462. 大正8年。 同：邦人ノ體型ト機能ニ就テノ觀察及ビ研究、大阪醫學會雜誌 第20卷、第5號、p. 401→464. 大正10年5月。 **三田谷啓**：**島村育人**：胸廓ニ關スル調査、大阪醫學會雜誌、第19卷、第12號 p. 1061→1065. 大正9年12月。 31) **島信**：幼稚園及小學校兒童ニ於ケル二三徵候ノ統計的檢查成績、兒科雜誌、自第296號→至第307號、p. 314→320. 第297號、p. 132→133. 大正14年度。 32) **篠崎健關**：農村兒童ノ發育ニ關スル調査附學校給食ノ提唱、學校衛生第6卷、第8號、p. 591→597 (p. 41→47) 大正 5年8月。 33) **高田他家雄**：保險醫學上ヨリ見タル日本人ノ體質、國家醫學雜誌、自第372號→至第383號、第372號、p. 1→20. 大正7年1月。 34) **財部靜治**：社會統計論綱、大正13年11月。 35) **丹治善造**：日本人ノ體格及ビ體格ノ分類ニ就テ、保險醫學雜誌、第99號(第20卷、第3號) p. 143→162. 大正10年7月。
- \* ハ直接見ルコトヲ得ザリシモノナリ。